



常設委員会活動のご紹介

国際委員会

国際委員会は、ジェネリック医薬品関係のグローバル動向の把握や海外製薬団体との交流並びに国内製薬団体との国際活動に関する情報交換などの活動を行っています。13社から15名が委員登録されており、会議は年4回程度開催しています。なお、国際委員会の前身はIGPA(現在のIGBA)対応検討委員会であり、平成21年度に国際委員会に改称し今日にいたっています。

主な活動は以下のとおりです。

●IGBA(国際ジェネリック・バイオシミラー医薬品連盟)関係の活動

GE薬協は、平成19年に正会員加盟しています。毎年開かれる総会に参加しておりますが、ジェネリック医薬品関係のグローバル動向の把握にとって貴重な機会でありますので会員各社から奮ってご参加頂ければと存じます。また、IGBAには運営委員会、貿易・知的財産委員会、科学委員会、バイオシミラー委員会の4つの委員会があり、電話会議や総会開催時のFace-to-Faceの会議に参画しています。今年の第20回IGBA総会は6月にリスボン(ポルトガル)で開催され、概要はJGAニュース7月号(111号)で紹介させて頂いております。なお、来年も6月に欧州(場所未定)で開催予定です。

IGBAは平成28年にICH(医薬品規制調和国際会議)への加盟が承認され、IGBA傘下のGE薬協として技術的ガイドラインの国際的調和活動に参画しています。会員会社からICH専門家会合などにご参加を頂いており、トピック毎にGE薬協の専門委員会が受け皿となり対応されています。なお、IGBAのICHコーディネーターをGE薬協が務めています。

●海外製薬団体等との交流への対応

近年、海外製薬団体等の来訪の機会が増えてきています。その都度、意見交換を行っていますが、日本のジェネリック市場や薬価制度あるいはジェネリック使用促進策、

薬事規制、バイオシミラー等々について質問されることも多く、こうした機会に提供できる基礎的な英文資料を作成し、対応に活用しています。

●英文ホームページの検討

平成 27 年に全面的にリニューアルし、その後も統計データのアップデートなどを行っていますが、引き続き内容の充実について検討してまいります。

●日本製薬団体連合会国際委員会との連携

日本製薬団体連合会の国際委員会に GE 薬協の代表として参画し、国内関係団体の国際活動に関する情報交換や業界全体としての国際的対応に連携して対応しています。

会員各社のニーズを踏まえながら、また関係委員会と連携・協力して活動の充実を進めてまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。